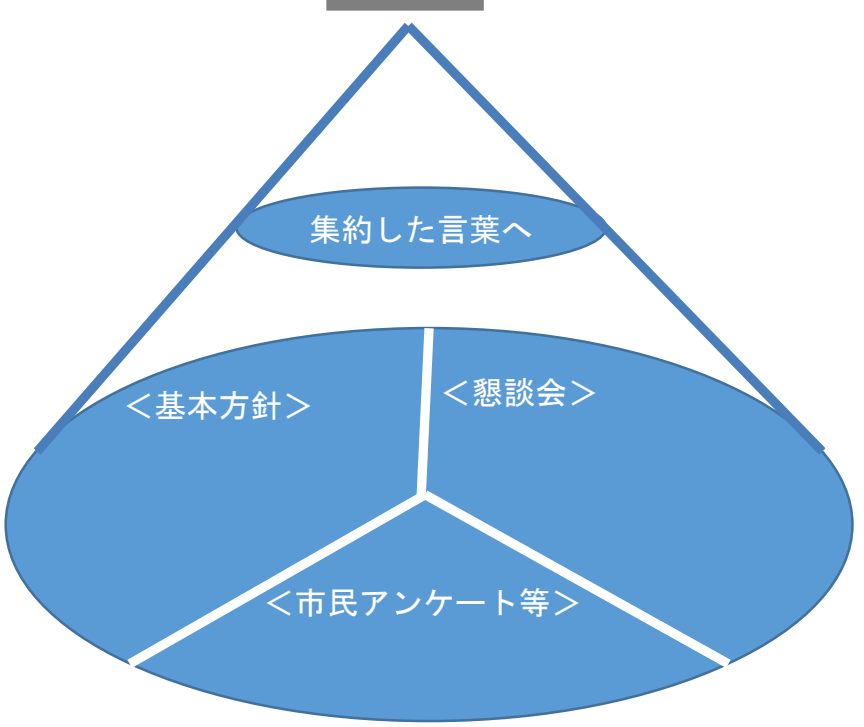
第２回　懇談会討議の論点

１．整備コンセプトと整備方針（たたき台）

●●●●●●　●●●●●●●●
（例）白河の希望　活力とやすらぎの城



■既往の基本方針、市民アンケート、インタビューからの望むまちキーワード

計画上の課題

市民意向

方針１（機能・規模）

(1)整備テーマ「健康」を骨格としながら、市の重点課題である「医療体制の充実」「子育て支援の推進」「高齢者福祉の推進」「防災・減災対策の充実」の解決に資する機能を配置する。
(2)市の規模に合致する必要最小限の機能規模とする。
(3)持続可能なまちづくりに欠かせない若者のニーズを反映した機能とする。

方針２（配置計画）

(1)「利用者」や「運営者」の視点から、景観性向上、利用者サービス向上、執務利便性・効率性向上に資する
(2)イベント催事など、非日常の利用実態に配慮した配置計画とする。

方針３（他公共施設との複合的利用）

(1)整備テーマに合致する機能は、他公共施設と使われ方が重複しないよう機能配置する。
(2)老朽化する他公共施設は、管理する延べ床面積を抑えられるよう機能を複合施設へ集約する。
(3)時代に合わせ機能配置、規模を変更可能な建物仕様の空間を設ける。

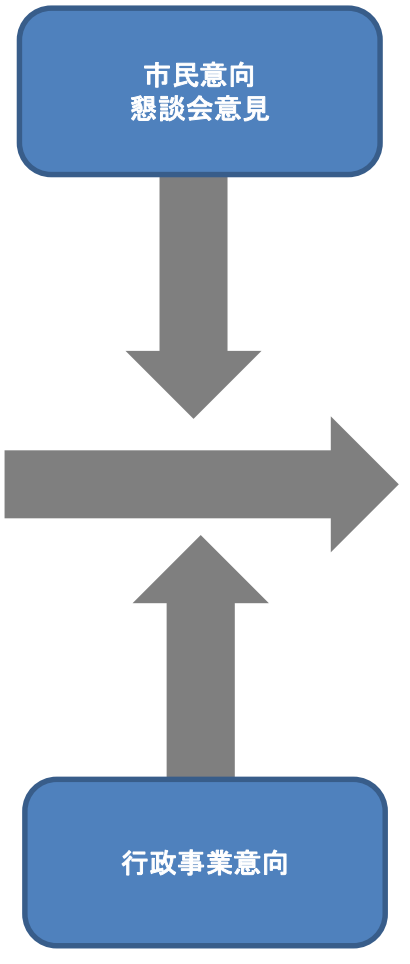
方針４（本庁舎と計画地の一体的な利用）

(1)市民にとって行政サービスを受けやすい一体的かつ連携したハード整備、機能配置
(2)市職員にとって使いやすい、連携・調整を図りやすい機能配置
(3)市民利用、職員利用の動線を踏まえた、使いやすい余裕のある駐車場、駐輪場の整備

２．配置すべき機能（たたき台）

全国の事例

【健康増進】
・体を動かせる空間を設置するタイプと保健センター等の診察を行えるタイプに分けられる。
・前者の場合は多世代交流、後者の場合は高齢者を対象とした施設の機能構成となっている。
【高齢者支援・生きがいづくり支援】
・健康増進機能と複合的に計画されている場合が多い。
【子育て支援】
子供を遊ばせる屋内広場、一時保育が可能な空間を設置する場合が多い。
・子育て相談のための諸室が併設されている。
【交流促進機能】
・交流スペース等、多世代交流のための機能を有している。
【防災・災害対策拠点】
・非常用電源、備蓄倉庫等機能継続の工夫がある。
・対策拠点機能を有する場合は他の施設との連携を樹脂している。
【その他諸機能】
・まちづくりの契機となる仕組みを組み込んでいる。(チャレンジショップ設置スペース)



機能種別	具体的な機能（例）
健康増進機能	・保健指導室 ・健康診査室 ・フィットネスクラブ
高齢者支援機能	・機能訓練を行う場所 ・静養室
生きがいづくり機能	・診察室、検査室、栄養指導室、保健資料室、機能回復訓練室、 ・集会及び運動指導室、教養娯楽室、図書室 ・チャレンジショップ
子育て支援機能	・子育て親子が集う場として適した場所 ・授乳コーナーや流し台、ベビーベッド、遊具その他乳幼児を連れて利用しても支障が生じない設備
交流促進機能	・集会室、学習、研修室、観光案内機能
防災・災害対策拠点機能	・災害医療活動支援機能 ・備蓄物資の効果的供給機能（備蓄倉庫） ・救援物資の中継・分配機能（防災広場）
飲食	カフェ、食堂
物販	コンビニエンスストア
共通	・生活、健康相談室